

患者の皆様へ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

記

研究機関名	市立豊中病院
研究実施許可日	2023年2月7日
研究期間	2027年10月31日 まで
研究の名称	進行・再発非小細胞肺癌患者に対するニボルマブ＋イピリムマブ±プラチナ併用化学療法またはペンブロリズマブ±プラチナ併用化学療法の有効性と安全性を評価する多施設共同後向き観察研究
研究対象	この研究は、肺癌と診断された患者さんのうち、以下の条件を満たす方を対象としております。 ○ 研究に参加していただける方の主な条件 1. 進行・再発非小細胞肺癌と確定診断されている 2. 初回治療としてオブジーボ・ヤーボイあるいはキイトルーダが投与されている
対象材料	病理材料 診療記録 血液材料
対象期間	2018年12月1日～2022年5月31日
研究の目的意義	現時点でオブジーボ・ヤーボイの併用療法がどのような患者さんに有効か、またはどのような患者さんで副作用が出やすいかなどは不明です。この研究は、オブジーボ・ヤーボイの併用療法、オブジーボ・ヤーボイと抗がん剤の併用療法が使用された患者さんの中で、どのような患者さんで効果が増強されているかをカルテ情報や診断時の組織を解析することにより明らかにすることができると考えております。また、キイトルーダと抗がん剤の併用療法と直接比較することにより、どちらがどのような患者さんに適しているかを明らかにすることができる可能性があります。 この研究により、オブジーボ・ヤーボイを含む治療法がどのような患者さんに有用かが明らかになれば、今後、オブジーボ・ヤーボイ併用療法を優先的に使用する一つの根拠となります。
方法	1. 患者さんのカルテから集められた情報(年齢、性別、治療内容など)を匿名化した上で、調査ファイルに入力します。入力した調査ファイルは研究事務局で送付され、パスワードをかけた上で厳重に保管されます。 2. 患者さんの診断時の組織検体は、各施設から大阪大学呼吸器内科に集められ、実際に解析してもらう担当業者に依頼する予定です。 3. 各施設からのデータが全て揃った時点で総合解析を開始します。
個人情報の取り扱い	この研究に参加されますと、当院以外の機関にあなたの診療情報・組織検体を提供します。その際には、お名前などのあなたを特定できる情報の代わりに、研究用の符号をつけることで個人を一切特定できないようにします。 また、この研究で得られた結果は、貴重な資料として学会や医学雑誌等に公表されることがあります。これらの場合もプライバシーは守られます。
問い合わせ先	市立豊中病院 呼吸器内科 森村 治 〒560-8565 大阪府豊中市柴原町4-14-1 TEL:06-6843-0101